

「笑顔いっぱい」の学校に！」



川 辺小学校は、本年度全校児童が39人です。

自然豊かな田園地帯の中
にあり、落ち着いた環境
の中で学習しています。
給食や清掃活動をはじめ
として、さまざまな活動
をなかよし班（異年齢集
団）で実施しています。
その中で、互いに声を掛
け合い、助け合いながら

温かい雰囲気をつくっています。
その一方で、一人一人の児童に、
「あなたの良いところは」と聞いて
みると、なかなか答えられない
児童もありました。

そ こで今年度は、『笑顔いっば
いの川辺小学校！』と自分や
友達の良さを分かり合おうとテ
ーマに、自分や相手のことを尊重
する意識を高める取り組みを進め
ています。

この一学期には、自尊心を高
めようと、『いいところいっばい
カード』に取り組みました。クラ
スの友達に書いてもらった一人一
人の良いところを、顔写真とともに
掲示しました。

カードには、「困っている友達
に優しくできる」「できないこと
でもあきらめず努力している」

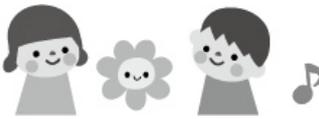
「走りが速い」など、その友達の
ことを多方面から見ている
ことが良く分かりました。

友達に書いてもらったカードを
見て、書いた感想文には、「自分
が思ってもいなかった良いところ
を書いてもらってうれしかった」
「みんなが見てくれたのがう
れしかった」「自分の良いところ
を増やしたい」「みんなの良いと
ころをもっと見つけていきたい」
などと書いてありました。そこか
らは、自分では良いところだと思
っていなかったことに気が付いた
り、自分のことを認めてくれてい
ることが分かったりして自信をも
ったことや、もっと自分や友達の
良いところを増やしたり見つけた
りしていききたいという気持ちが伝
わってきました。

こ れからも、自分や友達の良さ
を考えることによ
り、自分や相手のこと
を尊重する児童を育て
ていき、笑顔いっばい
の学校になるようにと
思っています。

(川辺小学校 人権教育主任

石角 正浩)



消費者グループが作った生
ごみ堆肥を受け入れ、牛ふん
などに混ぜた堆肥を使って野
菜を作り、その消費者グル
ープに販売。こんな資源循環型
の取り組みが美山町大野で行
われています。



文字さんら
10人のグル
ープと右京区御
室の消費者グ
ループとの交
流は平成16年
から続いてい
ます。消費者は美山町の畑を
訪れ、生産者は野菜市や堆肥
作りを見学するなどして、意
見交換を行っています。手間
を惜しまず安全な野菜を育て
る苦労を知り、おいしい野菜
を心待ちにしている人の喜び
を知る。そんな思いやりの心
の交流が深まっています。



今回のエコジスト
文字 美代子さん
(美山町大野)

「農業を使
わないので、
草や虫が大変
ですが、栄養のある元気な土
作りをすることによって、強
く健康な野菜が育つと思いま
す。御室の方々とは本当に楽
しく交流しています。誰のた
めに作っているかが分かるの
で、やる気も出て、楽しみも増
えます」。

文字さんのグループは高齢
者が中心ですが、野菜作りを
通して、みんなが助け合っ
ています。「これからは若い人た
ちにも野菜作りの楽しさを知
ってもらい、輪を広げたいで
すね。なかなかうまくいかな
いのですが、今は生ごみの堆
肥作りにも挑戦しています。
野菜作りのことで頭がいっぱ
いで、嫌なこともすぐに忘れ
てしまいますよ」。

そんな文字さんの元気が野
菜の味をさらにおいしくして
います。
(環境課)